

平成19年度 事務事業評価表	担当	消防本部	通信指令課	内線等	99-3002
事務事業名	火災・救急通報(119)時の受信対応事業			事業コード	1. 一般事務事業(ソフト事業)
根拠法令等	消防法			A法令	

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	消防・救急
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象(受益者)	各種災害に遭遇した市民に対して
手 段	消防救急総合指令台等の通信機器を利用して
想定する成果	災害地点の迅速、的確な情報収集を行い、消防力の迅速な運用により市民の安全を確保する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
119番受信から指令までの総時間	-	68時間24分	-
災害指令件数	-	2,249件	-

成果指標

成果指標名	覚知から指令までの時間
成果指標の説明	119番受信から指令までの総時間 / 災害指令件数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		-				1分49秒				-			
成果指標													
事業費	事業費	2,149				2,149				2,149			
	人件費	24,909				26,554				28,242			
	(人数)	正規	3.2	非常勤		正規	3.4	非常勤		正規	3.6	非常勤	
	合計	27,058				28,703				30,391			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	27,058				28,703				30,391			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	地図上での位置表示は出来ないため、災害地点の特定に時間がかかる。
経済効率性	3	3	2	3	経済効率にとらわれず必要不可欠な事業。
事務効率性	2	1	2	2	旧式の機器を使用している為、新機種に比べ災害地点の特定に時間がかかる部分があるが、出勤体制、指示方法により迅速化に努める。
必要性	3	3	3	3	市民の生命、身体及び財産を火災等から保護しこれらの災害を軽減する為に必要である。
小計	10	9	9	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	119番受信は市民の安全の為に必要である。
合計	13	9	12	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	C	B	B	機器の老朽化により、他市町と比べて災害地点の特定まで時間がかかるため、機器の更新が必要である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
現在使用している通信指令台が大幅に老朽化している。新消防庁舎の建設の際、東三河全体での共同受信の問題も併せて検討し設備の更新を図りたい。
上記改善点の実施状況
新庁舎建設に併せ共同受信に参入すべく準備中である。

今後さらに改善すべき点

東三河全体での共同受信移行に向けて、より疎通を図り、運用効果の向上に努める。

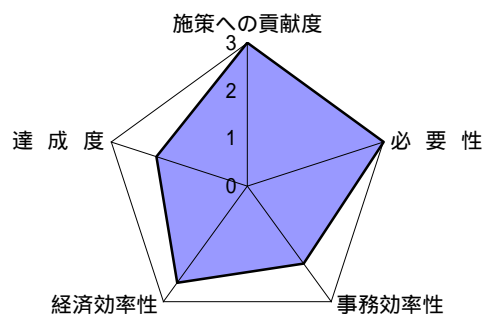
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点